



2024年7月5日

各 位

会 社 名 ニッコンホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 黒岩 正勝
(コード番号 9072 東証プライム市場)
問合せ先 取締役 執行役員 本橋 秀浩
TEL 03-3541-5330

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は取締役会の機能の現状を確認し、実効性の向上に繋げることを目的に、毎年度、取締役会全体の実行性の評価を実施しています。2024年3月期の実行性評価の方法および結果の概要は以下の通りです。

記

I. 評価方法

2024年3月期は評価にあたり、取締役が30問の質問に対し5段階評価を実施すると共に自由記述欄にコメントする形式で自己評価を行いました。また、客観性を担保した評価を実施するため、回答結果の分析にあたって外部機関を活用しております。分析結果に基づき、取締役会のあるべき姿及び現状について明らかにし、顕在化している課題や、課題に対する取り組み状況について、2024年7月5日の取締役会で報告しております。

【アンケートにおける評価カテゴリー】

1. 取締役会の構成と運営 (6問)
2. 経営戦略と事業戦略 (9問)
3. 企業倫理とリスク管理 (7問)
4. 経営陣の評価と報酬 (5問)
5. 株主等との対話 (3問)

II. 評価結果

2024年3月期の取締役会の実効性評価の結果を総合的に分析・評価した結果、全体として当社の取締役会における実効性は概ね確保されていると認識されていることが確認されるとともに、政策保有株式縮減のための検証、グループ本社の役割、ステークホルダーとの価値共有、行動規範の制定と監督、内部統制システムの構築・運用の



監視・監督等の諸点が高く評価されました。一方で、更なる実効性向上に向け、後継者計画の検討、DXの推進、取締役のトレーニングや取締役会への情報提供、サステナビリティに対する戦略議論の不足等については課題認識が示されました。

III. 抽出された課題と改善の方向性

2024年3月期の評価結果を踏まえ、著しく変化する事業環境における課題・経営戦略に関する情報提供と中長期視点での経営方針の議論の更なる充実に向けて、2024年3月期には、以下の方向性で取り組みを実施することで、監督機能の強化を図り、取締役会の実効性を一層高めていきます。

評価結果の課題	改善の方向性
後継者計画の明確化 計画に沿った候補者の育成	<ul style="list-style-type: none">➤ 執行側での後継者計画の検討➤ 指名・報酬委員会での議論強化

評価結果の課題	改善の方向性
DXを活用するためのツール改善	<ul style="list-style-type: none">➤ デジタルガバナンス・コード 2.0 を踏まえた取締役会での監督強化

評価結果の課題	改善の方向性
役員トレーニング	<ul style="list-style-type: none">➤ 不足するスキル、知識を補完するトレーニングの実施

評価結果の課題	改善の方向性
社外取締役への事前説明の不足、取締役会以外の場でのコミュニケーション不足	<ul style="list-style-type: none">➤ 事前説明会の改善➤ コミュニケーション機会拡充要否の確認

評価結果の課題	改善の方向性
持続的な成長に向けた戦略議論の不足	<ul style="list-style-type: none">➤ 執行側の取組状況の定期モニタリング➤ サステナビリティ施策に関する取締役会での議論

評価結果の課題	改善の方向性
内部通報制度の改善	<ul style="list-style-type: none">➤ 内部通報制度の監督のあり方の確認➤ 執行側からの状況報告の強化

評価結果の課題	改善の方向性
権限の委譲	<ul style="list-style-type: none">➤ 付議基準の見直し、付議項目のスリム化

以上